

特別養護老人ホーム「千川の杜（仮称）」が 平成 27 年 4 月に開設！

旧千川小学校跡地に建設中の「千川の杜」は、豊島区ではじめてのユニット型施設で、全ての部屋が個室でプライバシーが確保されています。運営事業者は社会福祉法人七日会で、定員は120人（ショートステイ12人含む）。運営事業者による特別養護老人ホームの案内・相談を開始しております。尚、区の入所基準に基づき、必要性の高い要介護者からの入所となります。申込み順ではありません。



詳しくは 千川の杜入所準備室
(小平市さくら野杜内) 042-479-1216 まで

※ 現在、東池袋5丁目（旧中央図書館跡地）においても特別養護老人ホームの整備を進めていますが、開設は平成27年秋頃の予定です。



高橋かよこは twitter に続き、facebook をやっています。アドレスは <http://www.facebook.com/takahashi1967kayoko> です。お友達になって下さい。

高橋かよこ スマイル通信 42号 豊島区議会活動報告

発行責任者 公明党豊島区議団：豊島区東池袋1-18-1
高橋かよこ連絡先 豊島区高田1-12-15 TEL (3590) 2633

平成26年第3回定例会で 一般質問を行いました



高橋かよこは、去る9月24日に公明党豊島区議団を代表して「住み続けたい 魅力ある豊島をめざして」と題し、一般質問を行いました。

保育定員を2年半で1000人の大幅増員へ！

公明党の度重なる議会質問と申し入れの中で、豊島区は平成29年度当初までに待機児童をゼロにする方針を明らかにしました。今後2年半で約1000人分の受入枠拡大を図るため認可保育所10園小規模保育所18園を積極的に誘致します。

そのために水島副区長を本部長とした「子ども・子育て支援対策本部」を設置し、待機児童対策を全力で推進します。



住みつけたい街をつくります！

一般質問 Q&A



「平成 25 年度決算について」

問 施設再構築の検討状況を伺う。

答 施設の改修・改築経費は、平成 85 年までの 60 年間で約 2600 億、年平均 43 億円。建物のみならず、将来に向け、持続発展可能な豊島区を支える施設等の管理計画を策定したい。



「街づくりについて」

問 都市づくりの基本方針について区長のお考えを伺う。

答 世界に向けて「国際アート・カルチャー都市」づくりに向けたプロジェクトを始動する。国家戦略特区や都市再生緊急整備地域による規制緩和を活用し、街路や広場など都市のあらゆる空間を民間に開放し、都市全体が舞台となる「劇場都市」づくりを目指す。

問 新庁舎周辺の交通安全対策について

答 新庁舎周辺は、車の速度がだせないように工夫したコミュニティ道路とて整備。今後も地元住民の要望をお聞きし、関係機関と連携し一層の安全対策を図る。

「住宅施策について」

問 リノベーションまちづくりで、空き家の活用が人口流出の歯止めになると考えるが

答 官民連携により多様なニーズに対応した魅力ある賃貸住宅にリノベーションを推進。「リノベーションまちづくり構想」を策定し、年度内にリノベーションスクールを開催する計画。その前段として、まちのトレジャーハンティングを実施し、普段気づかない潜在的な資源を専門家などの目を交えて探索する試みを実施する。リノベーションスクールでは、遊休不動産の活用について企画提案がされ、事業化できるプロジェクトが数多く実現すれば若い世代、特に子育て世代の定住化につながる。

問 大胆な住宅家賃助成事業拡充を

答 次年度から「子育てファミリー世帯家賃助成事業」の期間延長に努める。より効果の高いニーズに適合した住宅助成事業を検討していく。

問 サービス付き高齢者向け住宅の家賃助成を実施し、供給促進を図るべき

答 近隣居住推進型のサービス付き高齢者向け住宅での家賃補助については、事業者が供給計画を区に提出し、都における認定を受けた場合に、入居者の所得に応じて最大 4 万円の補助が受けられる。今年度から整備されるものには区民限定の募集を行うなど、同意基準を満たした場合に家賃減額補助が受けられる事とする。

「福祉施策について」

問 特定不妊治療の上乗せ助成や独自助成の実施を

答 不妊治療は一定の年齢からは効果が出にくくなるため、女性の健康相談を始め、女性のライフプランづくりの支援を開始する。

問 認知症の早期発見のため、認知症チェッカーの導入を

答 医師会・歯科医師会・薬剤師会及び地域包括支援センター等と連携して、検討会を立ち上げている。区民向けパンフレットに認知症チェックリストの掲載も検討する。



「教育施策について」

問 不登校の児童・生徒への IT を使った学習支援を

答 豊島区がこれまで開発してきたシステムと軌を一にしたものであり、前向きに検討する。

問 一人ひとりのニーズに合わせた特別支援教育のための課題について

答 平成 28 年度から拠点校による教員の指導が順次実施される事になるが、専門性と質を確保するため、東京都へ配置教員の増員を働きかける。